

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	女性活動推進事業						担当部	教育委員会事務局																						
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	まなび創造館																						
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	事業係																						
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		18 男女共同参画		2		あらゆる分野への男女共同参画を促進する																						
		副目的	18-3		18-4																										
	予算区分	款	10	項	5	目	9	大	4	中	1																				
	根拠法令・個別計画																														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	団体活動のネットワークの充実と活性化及び女性リーダーの育成・女性の自立を促す。																													
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいち国際女性映画祭と同時期に小さな映画祭inこまき、男女共同参画週間・国際女性デー名画鑑賞会、女性相談室の開設、女性のためのキャリアアップ パソコン講座を実施した。 ・ウィメンズネットこまき設立10周年記念事業を実施した。 ・職員は、ウィメンズネットこまきなど女性団体の育成・指導を行い、名画鑑賞会など市民の意識高揚につながる事業の企画、広報活動、事業運営を行った。 <p>【直接経費の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>講師謝礼(282千円)</td> <td>女性相談室相談員謝礼(1,900千円)</td> </tr> <tr> <td>旅費(65千円)</td> <td>団体交流室消耗図書(67千円)</td> </tr> <tr> <td>女性活動推進事業委託(963千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>団体交流室用パソコン借上(140千円)</td> <td>映画フィルム・映写機借上(1,080千円)</td> </tr> <tr> <td>団体交流室用DVD購入(97千円)</td> <td>女性の会補助金(950千円)</td> </tr> </table> <p>◎25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の映画祭を廃止。 ・市民・団体等による協働提案事業として電話による女性相談事業を行う。 ・講座開催事業で開催していたパソコン講座を統合し、女性の社会参加を支援するためのパソコン講座を開催する。 <p>そのほかは、24年度と同様に実施する。</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>講師謝礼(556千円)</td> <td>女性相談室相談員謝礼(1,920千円)</td> </tr> <tr> <td>旅費(162千円)</td> <td>団体交流室消耗図書(70千円)</td> </tr> <tr> <td>女性活動推進事業委託(700千円)</td> <td>女性相談協働事業委託(1,076千円)</td> </tr> <tr> <td>団体交流室用パソコン借上(139千円)</td> <td>映画フィルム・映写機借上(800千円)</td> </tr> <tr> <td>団体交流室用DVD購入(100千円)</td> <td>女性の会補助金(950千円)</td> </tr> </table>										講師謝礼(282千円)	女性相談室相談員謝礼(1,900千円)	旅費(65千円)	団体交流室消耗図書(67千円)	女性活動推進事業委託(963千円)		団体交流室用パソコン借上(140千円)	映画フィルム・映写機借上(1,080千円)	団体交流室用DVD購入(97千円)	女性の会補助金(950千円)	講師謝礼(556千円)	女性相談室相談員謝礼(1,920千円)	旅費(162千円)	団体交流室消耗図書(70千円)	女性活動推進事業委託(700千円)	女性相談協働事業委託(1,076千円)	団体交流室用パソコン借上(139千円)	映画フィルム・映写機借上(800千円)	団体交流室用DVD購入(100千円)	女性の会補助金(950千円)
	講師謝礼(282千円)	女性相談室相談員謝礼(1,900千円)																													
旅費(65千円)	団体交流室消耗図書(67千円)																														
女性活動推進事業委託(963千円)																															
団体交流室用パソコン借上(140千円)	映画フィルム・映写機借上(1,080千円)																														
団体交流室用DVD購入(97千円)	女性の会補助金(950千円)																														
講師謝礼(556千円)	女性相談室相談員謝礼(1,920千円)																														
旅費(162千円)	団体交流室消耗図書(70千円)																														
女性活動推進事業委託(700千円)	女性相談協働事業委託(1,076千円)																														
団体交流室用パソコン借上(139千円)	映画フィルム・映写機借上(800千円)																														
団体交流室用DVD購入(100千円)	女性の会補助金(950千円)																														
受益者負担	有 講座受講料(40,000円 パソコン講座1講座2,000円)																														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,778	5,360	5,544	6,473	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.50
			人件費	千円	1,066	1,066	1,066	2,665
		その他職員	従事者数	人	1.50	1.50	1.50	1.50
			人件費	千円	2,791	2,637	2,637	2,637
	費用合計	千円	8,635	9,063	9,247	11,775		
対前年比	%			104.9	102.0	127.3		
財源	一般財源	千円	8,555	8,780	9,207	11,679		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	80	283	40	96		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	支援・育成団体等	団体	目標	25	24	24
実績				22	22	26	
	ウィメンズネット加入団体	団体	目標	30	22	20	20
			実績	20	19	17	
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			女性相談件数	件	目標	100	120
	国際女性デー等映画鑑賞会	人	目標	1,250	1,250	1,500	970
			実績	1,426	1,468	1,992	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	<p>団体活動に必要なスキルを身につけるために、国立女性教育会館の研修に参加して学習した。女性団体活動は、主体的にさまざまな事業を実施して活発にできている。ウィメンズネットこまきは設立10周年を迎え、記念事業を実施した。相談件数が年々増加しているため、平成24年度は第2・4金曜日にも相談を実施し、第5を除く毎週水・金曜日に実施した。あいち国際女性映画祭と同時期に小さな映画祭inこまき、男女共同参画週間・国際女性デー名画鑑賞会を実施し、意識啓発を行った。</p>				
		事業実施における課題	<p>女性団体構成員の高齢化。母子家庭や生活保護受給者・非課税世帯など経済的に困難な状況にある女性を対象とした自立・就労支援のためのパソコン講座を実施しているが、受講料を無料としているため民間での実施は困難である。また、地域活動や就労や転職・起業を考えている女性を対象としたパソコン講座を実施しているため、対象が絞られるため、参加者の獲得が困難である。</p>				
		事業を縮小・廃止したときの影響	<p>男女共同参画推進のための女性リーダーの育成・女性の自立を促進することができない。</p>				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<p>講座開催事業で開催していたパソコン講座を統合し、女性の社会参加を支援するためのパソコン講座を開催する。 あいち国際女性映画祭と同時期(9月)に2日間実施していた映画祭を廃止した。 市民・団体等による協働提案事業として電話による女性相談事業を行う。</p>				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	<p>事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)</p>			
		判定理由	<p>女性団体のネットワークは県内でも珍しく、男女共同参画社会をめざして市独自の展開をしている。 今後も引き続き、女性団体の育成・指導を行い、市民の意識高揚につながる事業の企画立案が必要である。</p>				
		26年度以降の改善案	<p>ネットワークの活動内容は年々スキルアップし充実したものとなっているが、女性団体の高齢化は否めない。 今後は女性団体のさらなる活性化が必要である。 パソコン教室について、女性の社会参加や自立を支援するために必要な事業であるため、民間のパソコン教室との開催趣旨の違いを明確にする必要がある。</p>				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	<p>一次評価のとおり。講座開催事業については、本年度、全庁的に経営分析を実施するので、その結果を基に改善に取り組むこと。</p>